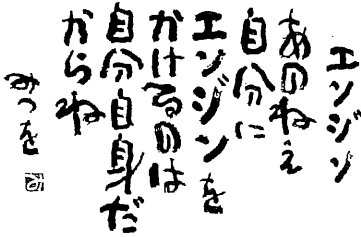


さくら第536号

令和 6年8月

さくら

発行所 さくらそろばん
発行者 平瀬 重雄
春江町境 17-7: TEL51-1337
hirase@mx2.fctv.ne.jp



『非認知能力を養おう』

あの人は頭がいい、記憶力が良い、勉強がよくできるという話を聞くことがあります。そしてクラスでトップだった、学年で何番だったというように必ず点数が話題になります。

このように、数字であらわすことができるような能力のことを「認知能力」といい、知能検査で測定できる能力のことをいいます。

半面、「非認知能力」とは目に見えず数値ではかりにくい内面的なことをいいます。

2020年の小学校の学習指導要領で打ち出された3本の柱が次のようになっています。

①学んだことを人生や社会に活かそうとする「学びに向かう力、人間性」など。②実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」。③未知の状況にも対応できる「思考力、判断力や表現力」などとなっています。

そしてこのうち、「学びに向かう力、人間性など」と、「思考力、判断力、表現力など」が非認知能力にあたります。

目標に向かってがんばる力。コミュニケーション能力。感情をコントロールする能力なども非認知能力になります。

非認知能力が求められるのは、社会のデジタル化が急速に進むことが挙げられます。社会情勢が目まぐるしく変化するので時代の流行、動向というようなことが大きく変化し、長年当たり前だった常識がくつつがえされ、新たなサービスや文化というような事が築かれます。

明確な判断をするには数字であらわすことが重要であり認知能力の向上は必要ですが、それらのデータを判断し、どのように生かす

か、そして目的に向けてどのように進めるかなどでは数字で示しにくい互いの気持ちをまとめ、やる気をもって進展させるにはどうすべきかが求められます。

非認知能力は、他者と意志疎通をはかるためにも役立ちます。他者と気持ちが通じ合うためには、感情をコントロールする力や相手の気持ちをくみとるための想像力などが必要です。話を最後まで聞くためには、忍耐力や我慢する気持ちが大切です。

自分の望みを果たすためには行動せねばなりません。自分に自信がある人は、すぐにプランを作り実行しますが自信のない人は、どうせ頑張ってもダメだろうなどあきらめてしまいがちです。行動力や、興味関心の強さなども非認知能力に含まれます。

非認知能力を養う手立てとして、想像力があります。目に見えないものを思い浮かべる力です。創造力は従来のやり方やルールにとらわれず、新しいモノや新しいコトを創り出す力です。忍耐力はいろいろな習い事で養える非認知能力です。

自己肯定感はあるままの自分を認めて受け入れ、肯定する力を指します。常に前向きな考えをもち、失敗や挫折を経験に変えていく力を持っています。チャレンジ精神は人生の可能性を広げるために重要な役割となる非認知能力です。

ところで、そろばんの検定試験では10段～10級まで細分化され、レベルアップへ段階的になっており、認知能力を確実に得ることができます。

計算技術を大いに発揮するには効率的な練習とたゆまぬ努力、そしてやり続けるための強い向上心は数字ではあらわせない非認知能力として重要になり、合格するまであきらめないという強い意志を養わねばなりません。

きれいにけずったエンピツを常に用意し、先生から言われなくても計算準備と指慣らしをするなどは数字では出ない非認知能力でありレベルアップに欠かすことができません。

ゆふがおや

物のかくれて

うつくしき

季節きこ

ゆうがお

加賀千代女かがのちよじよ

ゆうがおの白い花だけが、うすぐらい中に見えて美しい